

地域医療介護総合確保基金を活用した令和5年度新規事業の提案状況について

資料5（追加版）

番号	事業名	提案者	種別	事業概要（事業提案書抜粋）	区分	R5事業費 （基金充当額）（千円）	担当課	対応方針 ・ヒアリング（予定）の有無 ・予算要求予定の有無 ・上記の理由
1	DXを利用した遠隔手術支援によるがん手術の均てん化事業	三重大学医学部附属病院	新規	三重大学を中心として地域の主要病院（手術室）と仮想専用回線で繋いだDXの通信ネットワークを構築することで、各地域でもロボット手術を受けられるような遠隔手術指導の体制を構築していく。	-1	18,000	医療政策課	今後ヒアリング等を行い内容を精査したうえで予算要求の可否を決定する予定。
2	三重県の周術期医療を支える麻酔科専門医及び指導医の育成事業	三重大学医学部附属病院	新規	<p>1 三重大学医学部学生を対象に、周術期管理の重要性を説き、麻酔科学に興味をもてるようなカリキュラムを構築する</p> <p>2 三重大学病院及び連携施設に所属している初期研修医への周術期に関する教育を重点的に行い、その中から毎年3人の麻酔科専攻医を三重大学麻酔科専門研修プログラムによって育成する</p> <p>3 学生教育、初期研修教育、専攻医教育を通じて、麻酔科学の臨床診療、臨床研究など麻酔科医としてのプロフェッショナリズムを発揮できる麻酔科専門医を毎年1人育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学生を対象とする麻酔科学教育のカリキュラム改善</li> <li>・初期研修医を対象とする伊勢・志摩麻酔セミナーを開催（年に1回）</li> <li>・オンライン教育のためのコンテンツの整備</li> <li>・シミュレーション教育を効果的に行うための施設設備</li> <li>・三重大学麻酔科専門医研修プログラムの広報、普及（日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会での広報、年2回）</li> <li>・三重大学麻酔科専門医研修プログラムの運営、管理（年2回の委員会開催）</li> <li>・初期研修医、専攻医に対する国内学会での発表、論文作成の支援</li> <li>・Early exposureとして海外学会を経験させるための支援</li> </ul>		16,350	医療介護人材課	今後ヒアリング等を行い内容を精査したうえで予算要求の可否を決定する予定。

番号	事業名	提案者	種別	事業概要（事業提案書抜粋）	区分	R 5 事業費 （基金充当 額）（千 円）	担当課	対応方針 ・ヒアリング（予定）の有無 ・予算要求予定の有無 ・上記の理由
3	看護職員タスクシフト推進事業	伊勢赤十字病院	新規	<p>多岐にわたる看護師の業務実態について、病棟内での看護師動線の把握、看護業務毎の業務量等を調査することで、看護師の業務プロセスの問題点や看護師補助者へ移行可能な業務等、見直すべき点の可視化が期待できる。タスクシフトにより、看護師の本来業務である直接ケアの時間確保も期待され、医療の質向上、看護師の業務負荷軽減・離職抑制、地域医療体制の維持に繋がることが期待される。</p> <p>当院の全25病棟を対象に、ナースコール履歴・タイムスタディ・動線データ収集ツール等を活用して、看護師が現在その業務の実施に要している時間配分を調査する。結果を元に、看護師の業務プロセスの見直し、看護補助者の配置適正化等を実施後、再度同様の評価を行い効果測定を行い、更なる適正化を目指す。調査期間については、それぞれ7日間実施する。</p>		5,088	医療介護人材課	今後ヒアリング等を行い内容を精査したうえで予算要求の可否を決定する予定。
4	新興・再興感染症に対応できる公衆衛生人材の確保事業	三重県	新規	<p>三重大学医学部内に設置予定の「感染症危機管理人材育成センター」に県の寄附講座を開設する。当該寄附講座の教育研究活動の一環として、教員（医師）を県庁・保健所等の行政機関へ定期的に派遣し、県は専門的見地から各種行政計画策定や感染対策業務への支援を受けることにより、県全体の効果的な感染症対策と公衆衛生医療職の人材育成を推進する。</p>		15,400	医療保健総務課	県から三重大学に対して寄附講座設置について協議中

4 は事業提案書なし